

JANOG19 「トラフィック監視、管理って皆さんどうしているのでしょうか? - Beyond MRTG -」アンケート結果

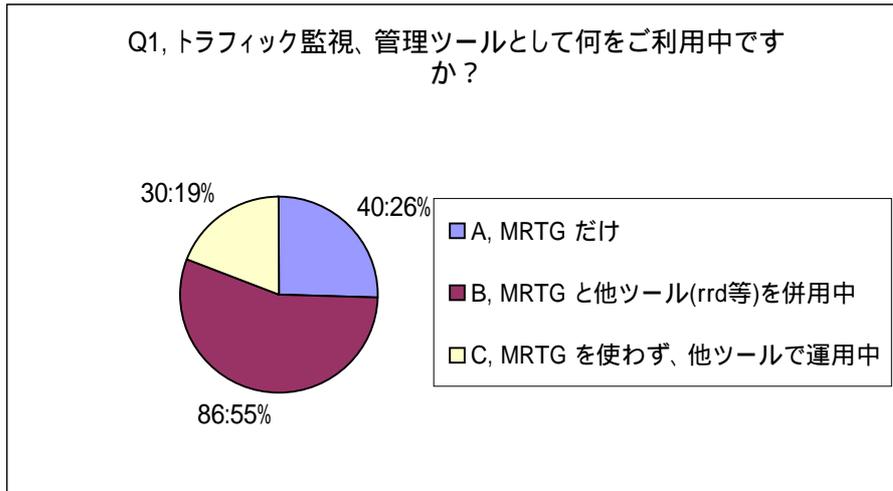
作成: 2007/2/5

有効回答数:156、アンケート募集期間: 2006/12/12 ~ 2006/12/25

[アンケート集計]

Q1. トラフィック監視、管理ツールとして何をご利用中ですか？

	回答数
A, MRTG だけ	40
B, MRTG と他ツール(rrd等)を併用中	86
C, MRTG を使わず、他ツールで運用中	30

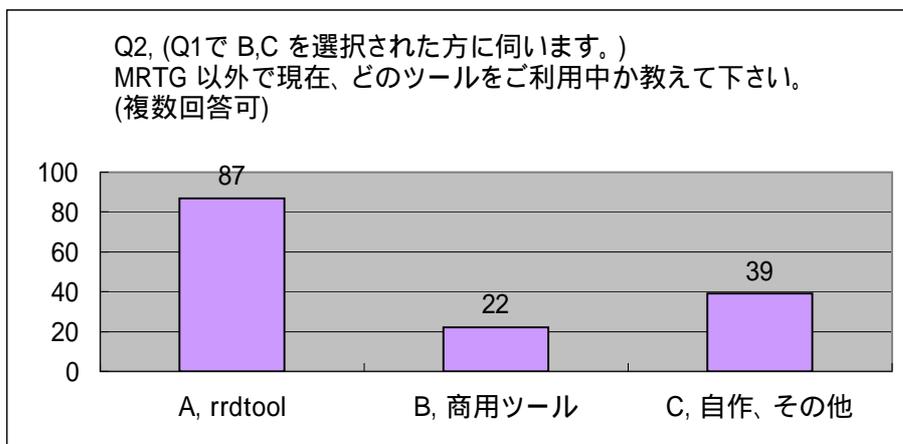


Q2. (Q1で B,C を選択された方に伺います。)

MRTG 以外で現在、どのツールをご利用中か教えて下さい。(複数回答可)

	回答数
A, rrdtool	87
B, 商用ツール	22
C, 自作、その他	39

- ・そのツールの名前とツールの選択理由(MRTGではない理由)は何でしょうか？可能な範囲でなるべく具体的に教えて下さい。
- => 回答は資料1参照 (フリーコメント入力)



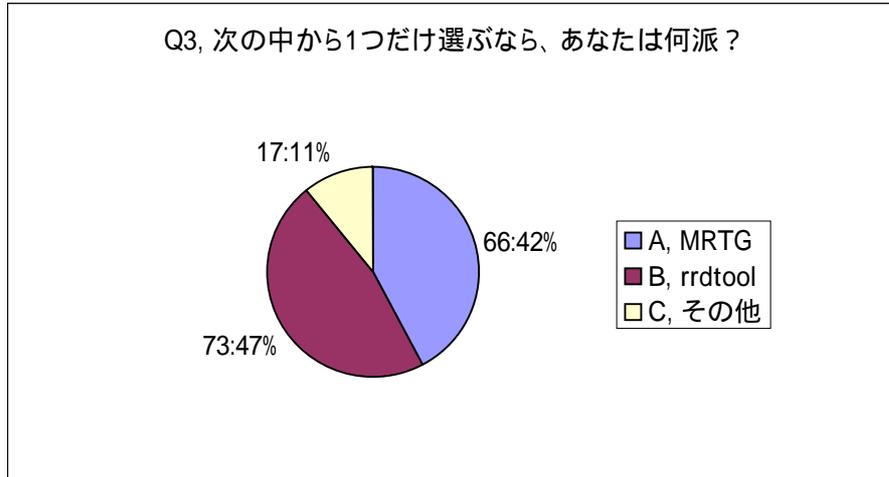
Q3, 最後に Quick Question .

次の中から1つだけ選ぶなら、あなたは何派？

	回答数
A, MRTG	66
B, rrdtool	73
C, その他	17

・「その他」を選択された方は自称「何派」でしょうか？ (フリーコメント入力)

=> 回答は資料2参照



JANOG19「トラフィック監視、管理って皆さんどうしているのでしょうか? - Beyond MRTG -」アンケート結果・フリーコメント部

資料1(Q2のコメント)

設問: MRTG 以外で現在、どのツールをご利用中か教えて下さい。そのツールの名前とツールの選択理由(MRTGではない理由)は何でしょうか?

rrdtoolのみ、もしくはrrdtoolと商用ツール、自作ツール他を併用している方のコメント

logの保持期間が指定できない。デフォルトのgraphフォーマットで表現できることに限界がある。
MRTGよりカスタマイズが可能。 MRTGより軽い。
CACTI 設定がGUIで簡単にできるので。たくさんのIFをもつ機器での設定変更の場合、MRTGだとConfigを作るのが大変だから。
3値以上を1つのグラフに取得できるから。 5分平均データを長期間保存可能であるから。 柔軟なグラフ描画可能だから(逆にそれが設定を複雑にし、扱いにくくしているけど)
rrdtool:見せ方として、グラフを重ねたりしたかった。 Cacti, MRTGよりもきれいなグラフが作れる、ある程度過去データも精緻なまま残せる、といった理由で導入してみました。でも、結局MRTGのほうが使いやすく、放置気味...
一つのグラフにたくさんのデータソースを描画できるところ。> rrdtool
MRTGでは過去のデータが丸められてしまう為。
ツール:cacti 理由:グラフの表示期間を指定できる
rrdtoolとcactiの組み合わせ web上から設定が出来るから。
cacti ブラウザからすべて操作できるから。
RRDで重宝している機能: 複数の観測データを組み合わせてグラフにすることができてこれが必須なんです。例: 局ごとの合計グラフ、合計トラフィック÷接続数で一人当たりのトラフィックグラフ、リンクアグリゲーションされた回線の分散率グラフとか簡単に出来る)。 軽いので、あるいは負荷が軽くなるようにrrdupdateを作れるのでMRTGより多くのデータを取得管理できるんです。
snmpで得られない情報を取得可能。 数値情報ならなんでもグラフ化可能
MRTGは ・収集対象数に比例して高負荷になる。 ・ビジュアル化の能力に限界がある。
Smokeying(トラフィック監視じゃないかもしれませんが、これと併用)
cactiの方が使いやすかったから
cacti, 設定が楽だから。昔はseafeltというのがあったんだけど、今は...。基本的にはrrdtoolというよりもフロントエンドの出来で決めます。
rrdtoolのフロントエンドとしてCactiを使用しています。 選択理由は、グラフ描画の自由度、デバイス・グラフ管理の容易さ、見た目wです
ADSL回線を利用しているため、帯域利用によるパケットロス・LinkDOWNによる品質を測定したいため
ひとつのグラフに複数のパラメータを持たせたい場合に便利だから
rrdtools = MRTG++ という理解をしているため。 rrdtool+cactiの組み合わせが視覚に訴える(外部に対して示しやすい)
二つの値しかプロットできない 表現の自由度がすくない cactiを使っています。なんだかんだでサーバ台数が100台を超えると2000件ぐらいの数字を測定することになるのでMRTGだと無理です。cactiも機器の追加とかが面倒で仕方がないのでrrdtoolのフロントエンドを独自に作ったほうがいいのかも。
商用:PNDPA:マップの自動生成とかで使っています。 rrdtool:hotsanic:とりあえずいるんならグラフを簡単に。 rrdtool:cacti:簡単に設定しようとしても意外と面倒なのに気づいたのでパス
監視装置に付属しているトラフィック監視ツールを利用しています。OpenView & 千手
MRTG 遅い MRTGだと表現できる幅が狭い MRTGのConfigは冗長

商用ツールを使っている方のコメント

InfoVista:メーカーのサポートがある(フリーのツールではない)
Apple サーバ管理
WhatsUpProfessional 監視 & アラート通知目的で利用しているツールのおまけ機能としてトラフィック情報も収集しています。
Eden。過去にさかのぼってトラフィックを確認できるため。ただし、ライセンス数があるため、それほど重要でないところや一時的な監視はMRTGを併用。
e-health レポート出力が楽
コンコルド社 eHealth
ツール名:InMon
選択理由:スイッチがsflowを喋る機材で、当時sflowをサポートしている商用ソフトウェアが、これしかなかったので。 http://www.msol.co.jp/it/ehealth/top.html
What's up 近場の会社で、ネットワーク監視に実績があったので

自作ツール、その他のツールを使っている方のコメント

cacti GUIで一括で作れるので。
cactiというツールを使っているが、GUIが非常に使いやすく、知識がなくても設定可能。 # 設定ファイルを作るのは大変なのですが(^_^;
cacti(rrdtoolのfrontendだけ...) DB対応だけど SNMP communityに変な文字入れていると動かない部分も存在する bugででしたけどまだ未改修
Cacti,Muninを使っています。Cactiはネットワーク機器用、Muninはサーバ用です。 Cactiは設定が楽な為利用しています。全体的な傾向を見るのにも向いています。 Muninは、1日のトラフィックが細かく出るので使っています。 MRTGは重いし、設定方法がわかりにくい。設定の追加も面倒です。 トラフィック監視とはちょっと外れますが個別にサーバの動作が気になった時には、サーバにntopと、iptrafもインストールしています。
cacti 見やすい グラフ自体の自由度がある RTG使用、収集間隔が短くできる。mysqlでデータ格納のため、MRTGみたく5分平均にならず、実データが表示・抽出でき eRR@infoという自社商品
自作ツール ・MRTGのログファイルを利用し、過去30分のトラフィックの傾向から急激なトラフィックの変化に対し発報するようなスクリプト。 ・MRTGにフックを入れて、トラフィックデータをMySQLのDBに保存する仕組み。 (MRTGだと、過去のデータがサマライズされてしまうので)
MRTGは目視確認及び記録保存用。 併用している自作ツールは、トラフィックがゼロになったり急激に減少した際に発報し、MRTGを見るよう促すもの。(詳細はご勘弁)
imortgを使ってます トラフィックをトラップトリガーにシステムで自動作業をするため
nagios 10秒毎のトラフィックデータが必要だから。

商用ツールと自作他のツールを併用している方のコメント

それはいいない。(w でも、高いのから安いのまで色々...

資料2(Q3のフリーコメント)

設問: あなたは(MRTG,rrdtool以外の)自称何派?

Rubyで自作派
Apple サーバ管理
cacti
やっぱり痒い所に手が届く自作。
+gnuplot派^^;
cacti派
自作派
MRTGは監視ツール?
rrdtoolはグラフツール?
設定の容易さ,ドキュメントの豊富さ,logファイルの可読性と修正の容易性において,mrtgは一日の長があると信じています(^^)
沖縄に行ってmrtg擁護をしたかったです。
sFlow
安価な商用ツール
RTG派
カスタマイズが MRTG より多くできる。カラフルにしたりとか。後は、負荷軽減ですかね。
集めたデータはレポートや解析に再利用できないと意味が半減するので、自作するに限る。
まだ素晴らしいと言えるものでもない。今後の進化に期待!
MRTGもいいですが、netflowですかね...派
専用サーバなどで、運用できるなら。
MRTGの仕様に満足していないが機能追加する技術がない派
Cacti派。フロントエンドの出来次第。あとはnagiosと一体化してくれば文句なし。
主催者の視野が狭過ぎ
最低ソフトウェアデザイン12月号を読むべし
MRTGのデータをもとに、下位ISPへのトラフィック課金もやっている
nagios